

平成25年 春の全国交通安全運動 「上げた手に 気づいて止まる 思いやり」

4月6日(土)～4月15日(月)
4月10日(水)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。

新入学児童等に対する交通安全指導の重要性や、高齢者が関係する交通事故の多発等の交通事故情勢に対処するため、県民一人ひとりに交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ります。

子どもと高齢者の交通事故防止

- 道路を横断するときは必ず安全を確認し、無理な横断はやめよう。また、夕暮れどきや夜間の外出は反射材用品を着用しよう。
- 自動車を運転するときは、子どもや高齢者を見かけたら、その行動に充分注意し、減速、徐行、一時停止するなど思いやりの運転に努めよう。
- 高齢者運転者は、高齢者運転者標識（高齢者マーク）を表示し、安全確認と確実な運転操作に徹しよう。



自転車の安全利用の推進

- 自転車を運転するときは、二人乗り、傘差し、携帯電話・ヘッドホン使用等の危険運転は絶対にやめよう。また、歩道通行時は歩行者優先を徹底しよう。
- 夜間のライト点灯、夕暮れどきの早めのライト点灯の徹底と反射材用品の活用、交差点での信号遵守、一時停止・安全確認を必ずしよう。



全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

- 全ての座席でシートベルトやチャイルドシートが正しく着用されているかを確認してから発車する習慣をつけよう。
- 幼児を乗車させるときは、体格に合ったチャイルドシートを正しく取りつけ、使用しよう。
- 自動車で出かけるときには、全ての座席でシートベルトやチャイルドシートを着用するよう家族で互いに確認しよう。



飲酒運転の根絶

- 飲酒運転の悪質性や危険性を認識し、飲酒運転を絶対にしないという強い信念を持つとともに、二日酔いにならないよう節度を持った飲酒量・飲酒時間を心がけよう。
- 飲酒運転事故が起こす悲惨な現実について家族で話し合い、飲酒が予想される会合等には車を運転していかないよう声かけをしよう。



<実施機関>

常陸大宮市交通安全対策推進協議会・(財)茨城県交通安全協会大宮地区交通安全協会・常陸大宮市交通安全母の会連絡協議会・大宮地区安全運転管理者協議会・大宮警察署

問 本庁 安全まちづくり推進課安全まちづくり推進G ☎52-1111 内線113